

自分の居場所面白くしよう



「創業の魅力」 興陽高で講演

創業への関心を高めてもらおうと、県は24日、伊勢崎市の伊勢崎興陽高校（斎藤利昭校長）で創業者を招いた講演会「創業者創出ミーティング」を開いた。1年生約200

伊勢崎

（斎藤利昭校長）で創業者を招いた講演会「創業者創出ミーティング」を開いた。1年生約200

（館林市）の三田英彦社長が登壇した（写真）。同社は2017年に創業し、自然環境改善と、地域経済の発展への貢献が理念。耕作放棄地を活用したオリーブ栽培について

触れ、収益を出しながら緑地を増やす試みについて紹介した。国内ではなく、同社は市場拡大の可能性があるとみて、事業に取り組んでいる。

三田社長は「行くべきところを自身で決められるのが創業の魅力。自分の居場所を自ら面白くしてほしい」と呼び掛けた。

ミーティングは15年度に始まり、県内の高校などで開かれている。今回が本年度の1校目。新型コロナウイルス感染症対策として、生徒を100人ずつ2回に分けて実施した。